

学童保育所「ひかりのおくりもの いっ稚」評価結果公表

平成 29 年度における学童保育所「ひかりのおくりもの いっ稚」運営についての全職員による自己評価をもとに評価を行った。自己評価は 5 段階で評価し、平均したものである。

1. 本園の教育理念及び教育目標

教育 理 念	教 育 目 標
一人ひとりが安心して帰ってこられる居場所作りを確立する。また、様々な体験を通し、異年齢児童と協力しながら、自主性、社会性、豊かな情操のある子どもに育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心できる場所で、のびのび遊ぶ ○ 集団生活で協力し、社会性・自主性を育てる ○ 周りの環境(自然)を生かし、色々な体験を積む

2. 本年度、重点的に取り組む目標

他児童との集団生活の中で、一人ひとりが自己発揮をしながら協力し合い、安心して生活できる場を提供する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取組状況
おやつ提供について	5	下校時間に合わせて提供を行っている。また、児童の健康面を考えながら、なるべく手作りの物を提供している。
保護者との連携について	5	連絡帳はないが、お迎えの際に日々の様子や出来事を保護者と詳しく話をする様にしている。
支援員の処遇・研修	5	可能な限り様々な研修に参加するよう努めている。月 1 回の会議内にて、職員研修も行っている。
他機関との連携について	4	地域の小学校と連携を取り、非常時の備えをしている。しかし、町内会等との連携をもう少し深めることが課題。
衛生管理・安全対策	5	毎日の設備点検、月 1 回の避難訓練を実施している。児童にも、事故回避のための指導を行っている。
職場倫理・法令遵守	5	子どもや保護者の人権に十分配慮し、職場倫理を自覚して職務に当たるように心がけている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	取組状況
5	取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことを通して、本学童としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

※ 「3, 4」の評価結果の表示方法

- 「5」 十分にしている
- 「4」 している
- 「3」 ほぼしている
- 「2」 不十分なところが多い
- 「1」 ほとんどしていない

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
周辺地域・学校との連携	本学童の情報の提供を積極的に行い、連携を深めるとともに、有事の際の連携もとっていくように努める。町内会の行事に積極的に参加する。
子どもに関する把握	入所児童一人ひとりの様子等について、各支援員が共通理解を深め、適確な支援を行う。

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。